

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

Socket wrenches — Extension bars

Ⓔ JIS B 4637-1994

Revised 1994-03-01

Investigated by

Japanese Industrial Standards Committee

Published by

Japanese Standards Association

1-24, Akasaka 4-chome, Minato-ku

Tokyo, 107 JAPAN

Printed in Japan

定価 361 円(本体 350 円)

JIS

UDC 621.883.007

B 4637

ソケットレンチ—エクステンションバー

Ⓔ JIS B 4637-1994



平成 6 年 3 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

工作機械部会 作業工具専門委員会 構成表(昭和56年7月1日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	築 添 正	大阪大学
	田 中 正 明	財団法人機械電子検査検定協会
	笹 昌二郎	通商産業省工業品検査所
	島 弘 志	通商産業省機械情報産業局
	吉 沢 均	工業技術院標準部
	屋 敷 定 雄	前田金属株式会社
	千 葉 民 治	昭和スパナ製造株式会社
	田 口 輝 雄	日本珍廻株式会社
	安 西 武 二	株式会社松阪鉄工所
	大 江 徳太郎	花園工具株式会社
	五十嵐 力	株式会社五十嵐プライヤ製作所
	岡本 太右衛門	株式会社ナベヤ
	堀 内 克之穂	株式会社堀内製作所
	井 藤 三 男	関西作業工具協同組合
	山 口 太 郎	全国作業工具工業組合
	宇田川 鉦 作	日本ねじ研究協会
	桑 原 昌 博	トヨタ自動車工業株式会社
	金 子 邦 男	日産自動車株式会社
	橋 本 秀 夫	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	早 田 直	東京電力株式会社
	丸 山 弘 志	日本国有鉄道鉄道技術研究所
	鶴 見 松之助	松下電器産業株式会社
	梅 島 重 兵	株式会社日立製作所
	内 山 友 和	日本電信電話公社
	佐々木 賢 市	東京芝浦電気株式会社
(事務局)	矢 島 武 憲	工業技術院標準部機械規格課
	加 山 英 男	工業技術院標準部機械規格課
(事務局)	熊 川 誠 一	工業技術院標準部機械規格課(平成6年3月1日改正のとき)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和29.10.30 改正：平成6.3.1

官 報 公 示：平成6.3.4

原案作成協力者：全国作業工具工業組合

審 議 部 会：日本工業標準調査会 機械要素部会 (部会長 大橋 秀雄)

審議専門委員会：作業工具専門委員会 (委員長 築添 正) (昭和56年7月1日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課(〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



ソケットレンチ— エクステンションバー

B 4637-1994

Socket wrenches—Extension bars

1. 適用範囲 この規格は、JIS B 4636に用いる12.7 mm角ドライブ用のソケットレンチ用エクステンションバー(以下、エクステンションバーという。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 4636 ソケットレンチ—ソケット

JIS B 7726 ロックウェル硬さ試験機

JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験方法

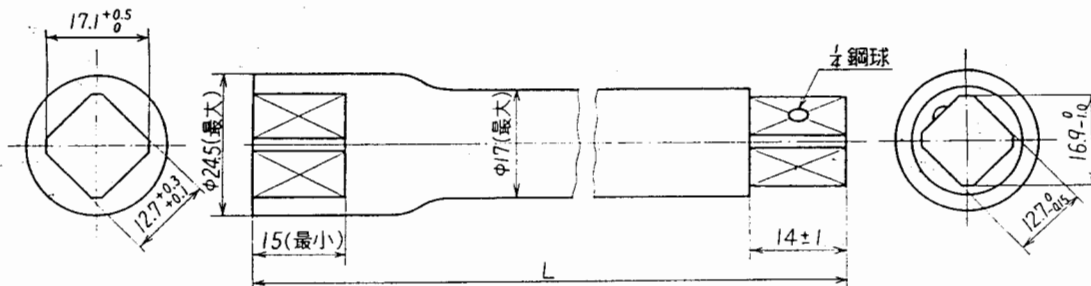
2. 形状・寸法 エクステンションバーの形状及び寸法は、次のとおりとする。

(1) エクステンションバーの形状は、原則として図1による。

(2) エクステンションバーの寸法は、図1による。

図1 形状・寸法

単位 mm



呼び	L	許容差
150	150	±5
250	250	

3. 品質

3.1 外観 エクステンションバーの外観は、割れ、有害なきず、まくれ、さび、その他使用上有害な欠点がなく、仕上げの程度は良好でなければならない。

3.2 機能 エクステンションバーの角ドライブ部の四角の面は、平滑で、かつ、均等であって、鋼球の出入りは、硬すぎたり、軟らかすぎってはならない。

3.3 硬さ エクステンションバーの硬さは、5.1の試験を行ったとき、36～45 HRCとする。

3.4 強さ エクステンションバーの強さは、5.2の試験を行ったとき、各部に使用上の欠陥があつてはならない。

4. 材料 エクステンションバーの材料は、JIS G 4051のS45C又は3.に規定する品質と同等以上の品質の材料と

する。

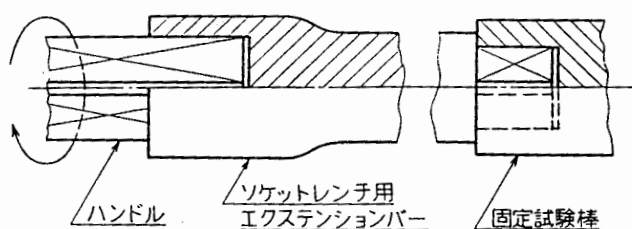
5. 試験方法

5.1 硬さ試験 エクステンションバーの硬さ試験は、JIS B 7726に規定する試験機を用いてJIS Z 2245の試験方法によって測定する。

5.2 強さ試験 エクステンションバーの強さ試験は、図2に示すように、ドライブ部にこれと適合する固定試験棒⁽¹⁾を挿入し、更に、他端のドライブ穴部にハンドルを差し込み、これに372.6 N・mのねじりモーメントを加え、約10秒間保持する。

注⁽¹⁾ ソケットレンチ用ソケットを代用してもよい。

図2 強さ試験



6. 検査 エクステンションバーの検査は、形状・寸法、外観、機能、硬さ及び強さについて行い、それぞれ2.及び3.の規定に適合しなければならない。

7. 製品の呼び方 エクステンションバーの呼び方は、規格番号、規格名称又は名称⁽²⁾、及び呼びによる。

注⁽²⁾ 製品名称とは、ソケットレンチ用エクステンションバーをいう。

例1. JIS B 4637 150

例2. ソケットレンチ用エクステンションバー 250

8. 表示 エクステンションバーには、適切な箇所に、製造業者名又はその略号を表示する。

なお、材料記号を表示することが望ましい。

JIS-B 4637-1994

ソケットレンチエクステンションバー 解説

この解説は、本体に規定した事柄及びこれに関連した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1. 制定及び前回改正までの経緯 この規格は1954年に制定され、その後1957年、1960年、1963年、1972年、1975年及び1981年の6回の改正を経て今回(1994年)の改正に至った。

2. 今回(1994年)の改正の経緯 今回の改正は、1990年6月1日の第399回標準会議において、“日本工業規格における国際単位系(SI)の導入の方針”が決定されたのに基づき、SI導入を行ったものである。

また、JIS Z 8301(規格票の様式)が1990年3月に改正されたのに伴い、それとの整合化を図る必要が生じたため規格票の様式を変更した。

さらに、他の作業工具関係JISとの整合も図った。

今回の改正は、実質的な変更点はなく形式的な改正であり、この規格の改正原案は、工業技術院事務局によって作成されたもので、1992年10月の日本工業標準調査会機械要素部会の審議を経て、平成6年3月1日付けで通商産業大臣によって改正された。

3. 今回(1994年)の主な改正点 今回の主な改正点は、次のとおりである。

- (1) SI単位だけを規格値とし、従来単位(kgf・m)を削除した。
- (2) JIS Z 8301の附属書1(規格の名称の付け方)に従い、規格名称を“ソケットレンチ用エクステンションバー”から“ソケットレンチエクステンションバー”に変更した。
- (3) JIS Z 8301の改正に伴い、規格様式などを見直した。
- (4) 規定事項(引用規格名称、硬さの表示など)を最新の作業工具関係JISと整合させた。

日本工業規格 ソケットレンチエクステンションバー 定価 361 円
(本体 350 円)

平成 6 年 6 月 30 日 第 1 刷発行

編集者 福 原 元 一
発行人

発 行 所

財団法人 日 本 規 格 協 会

〒107 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24

電話 東京(03)3583-8071 (規格出版)
FAX 東京(03)3582-3372

電話 東京(03)3583-8002 (営 業)
FAX 東京(03)3583-0462

振替口座 東京 6-195146

- 札幌支部 ㊟060 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 札幌大同生命ビル内
電話 札幌(011)261-0045 FAX 札幌(011)221-4020
振替: 小樽 6-4351
- 東北支部 ㊟980 仙台市青葉区本町 3 丁目 5-22 宮城県管工事会館内
電話 仙台(022)227-8336(代表) FAX 仙台(022)266-0905
振替: 仙台 0-8166
- 名古屋支部 ㊟460 名古屋市中区栄 2 丁目 6-12 白川ビル内
電話 名古屋(052)221-8316(代表) FAX 名古屋(052)203-4806
振替: 名古屋 0-23283
- 関西支部 ㊟541 大阪市中央区本町 3 丁目 4-10 本町野村ビル内
電話 大阪(06)261-8086(代表) FAX 大阪(06)261-9114
振替: 大阪 1-2636
- 広島支部 ㊟730 広島市中区基町 5-44 広島商工会議所ビル内
電話 広島(082)221-7023, 7035, 7036 FAX 広島(082)223-7568
振替: 広島 4-9479
- 四国支部 ㊟760 高松市寿町 2 丁目 2-10 住友生命高松寿町ビル内
電話 高松(0878)21-7851 FAX 高松(0878)21-8261
振替: 徳島 8-3359
- 福岡支部 ㊟810 福岡市中央区渡辺通り 2 丁目 1-82 電気ビル第 3 別館内
電話 福岡(092)761-4226 FAX 福岡(092)761-7466
振替: 福岡 9-21632